

児童発達支援自己評価表

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月1日

事業所名 草津市立発達支援センター湖の子園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		場所や時間を区切り、子どもたちに必要な活動が行えるようにしている。	雨天時の活動スペースを検討していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		配置基準に則って適切に配置されている。 職員の休暇などがある場合、クラス担任とは異なる職員が対応することもある。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		部屋の入れ替わり時の換気や、療育終了後の清掃・消毒・換気等、コロナ対策の徹底を心掛けている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向け評価での意見をもとに保護者との懇談の場を設け、改善に繋げている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員主体の療育内容研修を行い、互いのクラスの取り組みの共有や教材研究の場を設けている。	関係機関の研修はZOOM配信であった。今後も配信研修に参加できる環境を整えていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		「発達支援」「家族支援」「地域支援」の項目を挙げて記載している。保護者と共に確認し、途切れない支援をしていけるようにしている。	「身体拘束」の項目を入れ明確化する。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		行事や活動を分担して計画できるようにしている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動後には振り返る時間を設け、一人ひとりに合わせた活動を計画できるようにしている。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○				

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		クラスでの活動を朝礼で伝え合い、互いに動きを確認し合えるようにしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		打合せ、振り返りの時間を大切に積極的な意見を出し合い、職員間で共通理解を図っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて関係機関と連携し、支援を行うようにしている。	就園先にも情報を引き継ぎ、途切れない支援をしておく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就園予定先の職員に事前に療育の様子を見学してもらいながら引継ぎをしたり、就園後に療育の職員が訪問・観察するなどのフォローアップをしたりしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		在宅児を対象にした療育を行っているため、多くの方は修了後に地域の園所へ就園される。そのため就学先と直接連携する機会は少ないが、必要があれば対応する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	コロナ対策のため実施できていないが、例年は地域の園所との交流保育を実施している。	感染対策をとりながら交流会を実施できるよう、交流先と検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		事業所としての参加はできていないので、今後検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時などの会話などで子どもの様子を伝えるようにしている。また必要に応じて個別懇談を実施している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
保護者への説明	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者から申し出がある時以外にも、こちらが必要と感じた時には声をかけながら、懇談の場を設けたり、専門相談などにつなげたりした。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		担任、管理職、専門相談員と連携し、保護者の状況を把握するようにしている。また相談の申し入れについては迅速に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画を立て、園全体で訓練を実施できるようにしている。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例の報告書を1冊にファイリングしている。会議で情報共有をしている。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		人権研修を行い、職員の行動や意識を振り返る機会を設けている。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		身体拘束を行っているケースはないが、あれば対応する。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年4月1日

事業所名 草津市立発達支援センター湖の子園

保護者等数(児童数) 42 回収数 28 割合 67 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	1			・親同伴の集団療育でも十分に余裕があり、のびのびと遊ばせられる。 ・遊戯室は、走り回ったり、思いっきり活動したりすることができ、過ごしやすい場だと思う。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26			1	・子どもの発達や興味に合わせたおもちゃや遊びが用意され、楽しく活動してもらえている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27				・視覚的にわかりやすいよう写真が用意されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	1			・いつも清潔で好感が持てる。 ・プール療育が遠方のため、なかなか参加できなかった。	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	27					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	2		2	・地域支援が何にあたるのかよく分からない。	地域支援の内容について、適切な説明を行っている。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25			2	どのくらいの頻度で更新されているのか分からない。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25	1		1	・毎回異なる遊びが用意されていて楽しみだ	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	8	2	7	・見学はとてもありがたい、年に何回かいろいろな園を見る機会があると嬉しい。 ・来年度も継続予定なので就園は先だと思っていたが、見学を助けてもらい見学できて良かった。 ・コロナ禍のため、交流保育がないのが残念。コロナがおさまったら以前のように交流保育をお願いしたい。	状況を見ながら、交流保育の場を計画していく。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	1		1	・市の負担で実質無料となっているため、どのような計算で利用者負担が決められているのか分からない。 ・初期の説明がもう少し丁寧だと嬉しい。	運営規定や利用者負担等について丁寧に説明していく。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	27						
12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	23	2		2			
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	2			・子どものことをよく観察して、状況を詳しく伝えてもらっている。 ・口頭連絡がメインなので、忘れがちになる。 ・発達検査やOT,STのカンファレンス内容などのフィードバックを毎回してほしい。	個別の専門相談時だけでなく、クラス全体へのアドバイ内容等も伝え共通理解を図る。	

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	1	1	・悩み事や育児の相談に親身に対応し、助言をしてもらえありがたい。 ・家庭全体の支援において、細かなところまで対応してもらえている。 ・医療相談や発達検査が受けられ、手厚いと感じた。 ・こちらから、面談要請することが多かった。	定期的に面談を行っていく。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	2	1	・会長、副会長がメインに気遣ってくれた。先生方の指示があったかは不明。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	3	1	・こちらからSOSを出したが、対応には満足している。 ・手厚く相談にのってもらえ、支援してもらえた。	保護者が気軽に相談できるよう周知を図る。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	1			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22	3	2	・ホームページは草津市のサイト内のページ以外にあれば教えてほしい。	ホームページを適宜更新して発信していく。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24	1	2	感染症での欠席が他の保護者に伝わったことがあり、発生源と思わたのではと困った。	個人が特定されないよう、情報提供の仕方には十分配慮する。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	25	1	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27				
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25	2		・いつも笑顔で通ってくれ通所を楽しみにしている。 ・子どもが先生たちを大好きなので、大切にされているのがわかり安心して預けられる。 ・基本的には楽しいと思うが、どうしても朝はぐずったり、波があったりする。	
	23	事業所の支援に満足しているか	26	1		・対応がとても丁寧で満足している。 ・きめ細かいサポートや指導があり、感謝している。 ・きょうだいも参加させてもらえたり、フォローしてもらえたりしてありがたい。	